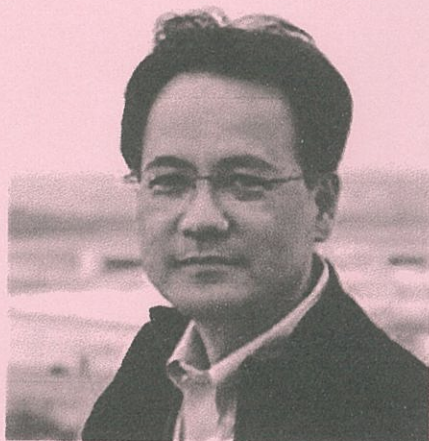


軍事的抑止力のまやかし — 沖縄から訴える

今、国民の多くは「安全保障関連法案」に反対の意を表しています。
8月30日、国会前で抗議の声をあげたのは、老若男女12万人。福岡でも9月6日
冷泉公園は4500人もの人で埋まりました。
一方沖縄では、9月14日沖縄県知事翁長さんが、前知事が承認した「米軍普天間飛行場の
県内移設に向けた名護市辺野古沿岸部の埋め立て承認」を取り消すことを表明しました。
安保関連法案や日米地位協定、辺野古新基地問題に詳しい前泊博盛さんの話を聞きます。
今わたしたちに出来ること、すべきことをみんなで考えてみませんか？



— 講師紹介 —

沖縄県宮古島生まれ。

駒澤大学法学部卒業、明治大学大学院修了。1984年
琉球新報入社。文化部、社会部、東京報道部、政経部
などを経て1998年編集委員。琉球新報論説副委員長
のち委員長。現在沖縄国際大学大学院教授。

1985年連載「子どもたちの赤信号～学校保健室はいま」
でアップジョン医学記事賞特別賞。「国家機密法と沖縄」
外務省機密文書のスクープと日米地位協定改定キャン
ペーン記事「検証地位協定～不平等の源流」など多数受賞。

日時…2015年10月21日(水)18時30分～(受付18時～)

場所…筑紫野市生涯学習センター TEL092-918-3535

(パールプラザ) 2Fさんあいホール 参加費 300円

講師…^{まえどまり}前泊 ^{ひろもり}博盛さん (沖縄国際大学大学院教授) 当日券 500円

共催…筑紫平和・人権センター・戦争をさせない筑紫・朝倉の会

問い合わせ先…電話&FAX092-581-4615・092-927-2239 (社本)